

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公表番号】特表2010-522118(P2010-522118A)

【公表日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2010-500377(P2010-500377)

【国際特許分類】

**B 6 0 K 15/04 (2006.01)**

【F I】

B 6 0 K 15/04 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月18日(2011.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

閉塞組立体を備えた車両タンクの燃料注入パイプのためのヘッドにおいて、燃料吐出口を前記パイプ(9)へ通すための開口部(23、123)を有した本体(15、115)と、

前記開口部(23、123)を閉塞する閉塞位置と、前記開口部(23、123)を閉塞しない開放位置との間で前記本体(15、115)に対して回動自在の閉塞体(12、112)とを具備し、

前記閉塞体(12、112)は、バネ手段(19、119)によって前記閉塞位置へ弾性的に付勢され、

前記閉塞体(12、112)は、前記燃料吐出口を前記ヘッド内に差入れるとき、前記閉塞体(12、112)に当接した前記燃料吐出口によって、前記閉塞位置から前記開放位置へ駆動されるようになっており、

前記閉塞体(12、112)は、前記閉塞位置において前記閉塞体(12、112)と、前記本体(15)の座面(25、125)との間に配置されるシール部材(39、139)とを具備し、

前記ヘッドは、前記閉塞体(12、112)を前記本体(15、115)に回動自在に取付けるためのヒンジを具備しており、

前記シート(25、125)と前記ヒンジによって規定される回動軸線との間の相対位置は固定されており、

前記座面(25、125)は平坦に形成され、

前記閉塞体(12、112)が、前記シール部材(39、139)を備えたプラグ(16、116)と、前記ヒンジによって前記本体(15、115)に取付けられ、前記プラグ(16、116)と共に前記バネ手段(19、119)によって付勢されるフラップ(17、117)とを具備しており、前記プラグは、玉継手(42、51；142、151)によって前記フラップ(17、117)に取付けられていることを特徴とするヘッド。